

防災・安全ニュース

VOL. 14

危機管理課

2024年6月号

電話65-1282

6月9日には、昨年より11日遅く四国地方が梅雨入りした模様という発表が気象庁からありました。平年だと梅雨明けは7月17日頃だそうですが、これから台風シーズンもあり本格的な出水期になってまいりますので、先月も申しましたが、日頃の備えをよろしくお願いいたします。

では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 土砂災害防止月間
- ・ 雨の日の事故
- ・ 職員が見た令和6年能登半島地震ロビー展

土砂災害防止月間

地球温暖化による異常気象の影響なのか、近年は熱帯低気圧の強度が増したり、線状降水帯などによる大雨の頻度が増加して、土砂災害の増加と激甚化が懸念されている状況です。

国土交通省は、土砂災害の防止と被害の軽減を目的として昭和58年から6月を「土砂災害防止月間」と定めています。

皆様には、ご自分やご親戚などの家が土砂災害の可能性のある地域でないか、今一度ハザードマップをご確認いただき、該当する場合には大雨時に早めの避難を呼びかけ合うなどの行動をとっていただければ幸いです。



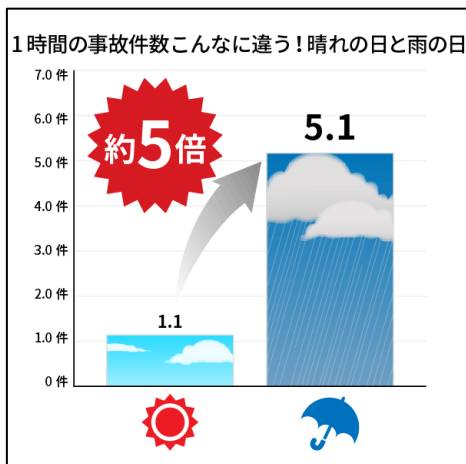
新居浜市防災マップ

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/boumap.html>

雨の日の事故

冒頭で梅雨入りの話題を紹介しましたが、雨の日の1時間当たりの交通事故発生件数は、晴れの日に比べて約5倍にもなるそうです。

晴れの日には追突事故が多いのに対して雨の日はスリップと視界不良によるガードレールや建物への衝突、いわゆる「施設接触事故」が



多いそうです。特に、スリップ事故では、カーブでの減速不足が代表的で、まれにハイドロプレーニング現象によることもあります。

対策としては、スピードの出し過ぎを控えて、タイヤの空気圧と溝、視界不良を防ぐワイパーの状態のチェックがあります。梅雨を迎えるこの時期、皆様の車の点検をしてみてもはいかがでしょうか？

※ JAF「交通安全情報サイト」

(データは首都高速道路株式会社提供による。)

ハイドロプレーニング現象とは

→ https://tyre.dunlop.co.jp/knowledge/tyrecheck/trouble_hydro

派遣職員が見た令和6年能登半島地震ロビー展

市では、石川県への被災地支援のために1月から継続して職員を災害派遣して参りました。その際に、職員が撮影した映像や感じたことなどを展示するロビー展を次のとおり開催いたしますので、皆様お誘いあわせてお越しください。

期間：令和6年6月20日（木）
～7月12日（金）

場所：市役所本庁横の消防防災合同庁舎
1階ロビー及び2階

派遣職員が見た
令和6年
能登半島地震
ロビー展

日時 令和6年6月20日(木)～7月12日(金)
会場 消防防災合同庁舎1階ロビー、2階

輪島市議会の
大規模火災

輪島市の7階建て
ビルの倒壊

能登小学校での
トイレカーの設置

「令和6年能登半島地震」の復興支援として派遣された職員が撮影した写真を紹介し、被災地に思いを寄せながら、災害の恐ろしさや日頃から備えの大切さについて考えてみましょう。

新居浜市 危機管理課
総務部 2階 115号室
電話：0897-45-1282 FAX：0897-33-5180
E-mail：kikkawa@city.niijima.lg.jp

災害体験学習も受けられて、震度7を体感することで防災意識を高めることがお勧めです。災害体験学習は、ロビー展が実施される1階で受け付けて体験できますが、予約が入っているとお受けできないことがありますので、是非、事前予約をしてお越しください。また、利用料は無料です。

防災センターの紹介と災害体験学習予約

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/kikikanri/bousais.html>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

先月には、低気圧と前線に加え、台風第1号からの湿った空気の流入で大雨が降り、愛媛県下16市町で大雨警報（土砂災害）が発表されました。新居浜市には警報が発表されなかったものの、相当量の雨が降ってあと少し雨が長引けば警報が発表されるような状況でした。これから梅雨シーズンですので、本文にも書きましたとおり、事前の準備と「まだ大丈夫」と思い込まず早めの避難行動をよろしく願いいたします。

(N.O)